



平成 28 年 3 月 23 日

各 位

会 社 名 株式会社 マルイチ産商
代表者名 代表取締役社長 藤沢 政俊
社長執行役員
(コード番号 8228 名証第二部)
問合せ先 取締役執行役員 渡辺 文明
企画・管理部門統括
TEL 026-285-4101 (代表)

弊社連結子会社信田缶詰株式会社の一部商品における不適切な原産地表示の件

弊社の連結子会社であります信田缶詰株式会社（以下、「信田缶詰」と言います。）の一部商品に於いて、原産地に不適切な表示があることが判明いたしました。本件により、関係各位に多大なるご迷惑をお掛けしておりますことを心よりお詫び申し上げます。

弊社が信田缶詰への資本参加・子会社化を前提とした調査を行っていた最中の 2015 年 8 月上旬、2014 年製造分の輸出用サバフレーク缶詰にサンマが混入していたこと（以下、「中東向輸出用サバフレーク缶詰へのサンマ混入事案」と言います。）が判明したことを受け、弊社と信田缶詰にて国内で流通している全商品について、過去 3 年に遡って（2013 年 1 月～）表示と異なる原料（魚種）の混入が無いことを調査、確認を完了しておりました。なお、このサンマ混入事案につきましては、輸出先と対応を協議した結果、信田缶詰が相当額のクレーム金を最終的に負担することで和解が成立しております。

本年 3 月 3 日に「中東向輸出用サバフレーク缶詰へのサンマ混入事案」が報道されたことを契機に原料の原産地について調査した処、一部に疑義があるものが認められましたので、2013 年 1 月以降の生産分に関して、細部に亘って社内調査を行いました。その結果、誠に遺憾ながら 2015 年 8 月以前の生産分の一部商品（「缶熟さんまの醤油味 T2R」「銚子産いわししょうゆ味 OV3」「さば水煮 T2」等）に実際の原産地が表示と異なる不適切な表示のものが判明いたしました。なお、本件による健康被害の報告はございません。

本件につきましては、信田缶詰よりお取引先様へ報告し、現在、店頭からの返品等の対応を進めております。また、行政に対して本件についての報告、相談を行っております。

弊社といたしましては、再発防止策を信田缶詰と共に推進し、マルイチ産商グループとしてのコンプライアンス遵守へ万全を期すべく、引き続きグループガバナンスの強化と徹底に全力を挙げて取り組んで参ります。また、既に着手しております原料調達強化と、管理部局の支援による管理レベルの改善を更に徹底促進し、お客様の信頼回復に努めて参ります。

なお、本件が業績に与える影響は現在精査中であり、改めて開示が必要な場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上